

科目名	キャリアデザインI	必修/選択	必修
対象クラス	警察・消防学科1年	開講時期	通年
教員名	山崎裕二/渡辺耀一朗	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

<ul style="list-style-type: none"> 希望職種に対する最終合格までのビジョン形成 公安系公務員, 一般行政職公務員等について、幅広く職業・受験・将来像について理解する ボランティア等自分のできる地域貢献方法やその企画等について、自ら考え行動する力を養う

2 授業計画 (1時限 45分 × 66回 = 2970分 4単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	公安系公務員試験について(受験科目と学習方法)	41	県外視察研修振り返り
2	公安系公務員試験について(受験科目と学習方法)	42	県外視察研修振り返り
3	一般行政職公務員試験について(受験科目と学習方法)	43	県外視察研修振り返り
4	一般行政職公務員試験について(受験科目と学習方法)	44	県外視察研修振り返り
5	公安系公務員試験について(OBの事例研究)	45	カレッジリーグ秋フェス準備
6	公安系公務員試験について(OBの事例研究)	46	カレッジリーグ秋フェス準備
7	一般行政公務員試験について(OBの事例研究)	47	カレッジリーグ秋フェス準備
8	一般行政公務員試験について(OBの事例研究)	48	カレッジリーグ秋フェス準備
9	履歴書・エントリーシートの取り組み方(履歴書)	49	カレッジリーグ秋フェス準備
10	履歴書・エントリーシートの取り組み方(履歴書)	50	民間就職研究
11	履歴書・エントリーシートの取り組み方(ES志望動機)	51	民間就職研究
12	履歴書・エントリーシートの取り組み方(ES志望動機)	52	2年生講話・座談会
13	履歴書・エントリーシートの取り組み方(ES自己PR)	53	2年生講話・座談会
14	履歴書・エントリーシートの取り組み方(ES自己PR)	54	バーチャル海外研修
15	履歴書・エントリーシートの取り組み方(ES特技資格その他)	55	バーチャル海外研修
16	履歴書・エントリーシートの取り組み方(ES特技資格その他)	56	バーチャル海外研修
17	面接試験研究(受験報告書等)	57	バーチャル海外研修
18	面接試験研究(受験報告書等)	58	バーチャル海外研修
19	面接試験研究(受験報告書等)	59	バーチャル海外研修
20	面接試験研究(受験報告書等)	60	バーチャル海外研修
21	面接試験研究(受験報告書等)	61	バーチャル海外研修
22	面接演習(学生同士)	62	バーチャル海外研修
23	面接演習(学生同士)	63	リアル海外研修準備
24	面接演習(学生同士)	64	リアル海外研修準備
25	面接演習(学生同士)	65	リアル海外研修準備
26	面接演習(学生同士)	66	リアル海外研修準備
27	面接演習(学生と教員)		
28	面接演習(学生と教員)		
29	面接演習(学生と教員)		
30	面接演習(学生と教員)		
31	面接演習(学生と教員)		
32	地域貢献研究(出身地・受験先)		
33	地域貢献研究(出身地・受験先)		
34	受験先研究		
35	受験先研究		
36	受験先研究		
37	県外視察研修準備		
38	県外視察研修準備		
39	県外視察研修準備		
40	県外視察研修準備		

3. 評価方法

出席率	90%	} 100%	備考欄
授業貢献度	—		
授業内のレポート・課題等	10%		
中間試験	—		
期末試験	—		

4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	—	出版社	—
著者名	—		

5. 実務教員の経歴

無

科目名	コミュニケーション研修I	必修／選択	必修
対象クラス	警察・消防学科1年	開講時期	通年
教員名	山崎裕二／渡辺耀一朗	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・様々な体験授業, 学校行事を通して、協力精神や公平・公正な精神を養う ・様々な体験授業, 学校行事を通して、仲間や教員とのコミュニケーション能力を養う

2 授業計画 (1時限 45分 × 47回 = 2115分 3単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	実践行動学I	41	NCOOLスポーツ大会
2	実践行動学I	42	実践行動学II
3	実践行動学I	43	実践行動学II
4	実践行動学I	44	実践行動学II
5	実践行動学I	45	実践行動学II
6	長岡市視察研修	46	実践行動学II
7	長岡市視察研修	47	実践行動学II
8	長岡市視察研修		
9	長岡市視察研修		
10	長岡市視察研修		
11	長岡市視察研修		
12	カレッジリーグ大運動会		
13	カレッジリーグ大運動会		
14	カレッジリーグ大運動会		
15	カレッジリーグ大運動会		
16	カレッジリーグ大運動会		
17	カレッジリーグ大運動会		
18	県外視察研修		
19	県外視察研修		
20	県外視察研修		
21	県外視察研修		
22	県外視察研修		
23	県外視察研修		
24	県外視察研修		
25	県外視察研修		
26	県外視察研修		
27	県外視察研修		
28	県外視察研修		
29	県外視察研修		
30	カレッジリーグ秋フェス		
31	カレッジリーグ秋フェス		
32	カレッジリーグ秋フェス		
33	カレッジリーグ秋フェス		
34	カレッジリーグ秋フェス		
35	カレッジリーグ秋フェス		
36	NCOOLスポーツ大会		
37	NCOOLスポーツ大会		
38	NCOOLスポーツ大会		
39	NCOOLスポーツ大会		
40	NCOOLスポーツ大会		

3. 評価方法

出席率	100%	} 100%	備考欄
授業貢献度	—		
授業内のレポート・課題等	—		
中間試験	—		
期末試験	—		

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	—	出版社	—
著者名	—		

5. 実務教員の経歴

無

2023年4月1日

科目名	コンピュータ実習I	必修/選択	必修
対象クラス	警察・消防学科1年	開講時期	前期
教員名	鹿熊真弓	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・タッチタイピングをマスターする ・テキストを使用し、Wordの基本操作を習得する ・各種プリントを使用し、理解を深める ・ビジネス文書の作成ができる ・検定問題集を使用し、検定3級の合格を目指す
--

2 授業計画 (1時限 45分 × 60回 = 2700分 4単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	入力練習(アルファベット)	41	問題集模擬問題2
2	入力練習(アルファベット)	42	問題集模擬問題2
3	Chapter1, 2(基本操作)	43	問題集模擬問題3
4	Chapter1, 2(基本操作)	44	問題集模擬問題3
5	入力練習(アルファベット)	45	問題集模擬問題4
6	入力練習(アルファベット)	46	問題集模擬問題4
7	入力練習(ひらがな)	47	問題集模擬問題5
8	入力練習(ひらがな)	48	問題集模擬問題5
9	入力練習(漢字変換)	49	問題集模擬問題6
10	入力練習(漢字変換)	50	問題集模擬問題6
11	入力練習(漢字変換)	51	問題集模擬問題7
12	入力練習(漢字変換)	52	問題集模擬問題7
13	Chapter3(文書の編集)	53	サンプル問題
14	Chapter3(文書の編集)	54	サンプル問題
15	Chapter3(文書の編集)	55	問題演習
16	Chapter3(文書の編集)	56	問題演習
17	Chapter4(文書の印刷)	57	問題演習
18	ビジネス文書作成	58	問題演習
19	ビジネス文書作成	59	問題演習
20	ビジネス文書作成	60	問題演習
21	Chapter5(文書の作成)		
22	Chapter5(文書の作成)		
23	Chapter6(表を使った文書の作成)		
24	Chapter6(表を使った文書の作成)		
25	Chapter6(表を使った文書の作成)		
26	Chapter6(表を使った文書の作成)		
27	Chapter7(図形や画像を使った文書の作成)		
28	Chapter7(図形や画像を使った文書の作成)		
29	Chapter7(図形や画像を使った文書の作成)		
30	Chapter7(図形や画像を使った文書の作成)		
31	総合学習問題		
32	総合学習問題		
33	問題集練習問題1		
34	問題集練習問題1		
35	問題集練習問題2		
36	問題集練習問題2		
37	問題集練習問題3		
38	問題集練習問題3		
39	問題集模擬問題1		
40	問題集模擬問題1		

3. 評価方法

素点 10点満点	【備考】 授業態度, 提出物, 過去問題, 検定結果を総合評価する
A: 8~10点	
B: 5~7点	
C: 3~4点, および検定不合格者	
追試: 0~2点, または科目出席率75%未満	

4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	Word2019クイックマスター(基本編), Word文書処理技能認定試験3級問題集		
著者名	サーティファイソフトウェア活用能力認定委員会	出版社	株式会社サーティファイ

5. 実務教員の経歴

無

2023年4月1日

科目名	基礎事務能力演習	必修／選択	必修
対象クラス	警察・消防学科1年	開講時期	前期
教員名	山崎裕二／渡辺耀一朗	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

【重点目標】 本試験における適性試験、文章理解の正答率を高める。 【指導方法】 対面授業による演習を中心に実施する。

2 授業計画 (1時限 45分 × 66回 = 2970分 4単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	適性検査演習【No.1】	41	適性検査演習【No.40】 文章理解演習【No.40】
2	文章理解演習【No.1】	42	適性検査演習【No.41】 文章理解演習【No.41】
3	適性検査演習【No.2】 文章理解演習【No.2】	43	適性検査演習【No.42】 文章理解演習【No.42】
4	適性検査演習【No.3】 文章理解演習【No.3】	44	適性検査演習【No.43】 文章理解演習【No.43】
5	適性検査演習【No.4】 文章理解演習【No.4】	45	適性検査演習【No.44】 文章理解演習【No.44】
6	適性検査演習【No.5】 文章理解演習【No.5】	46	適性検査演習【No.45】 文章理解演習【No.45】
7	適性検査演習【No.6】 文章理解演習【No.6】	47	適性検査演習【No.46】 文章理解演習【No.46】
8	適性検査演習【No.7】 文章理解演習【No.7】	48	適性検査演習【No.47】 文章理解演習【No.47】
9	適性検査演習【No.8】 文章理解演習【No.8】	49	適性検査演習【No.48】 文章理解演習【No.48】
10	適性検査演習【No.9】 文章理解演習【No.9】	50	適性検査演習【No.49】 文章理解演習【No.49】
11	適性検査演習【No.10】 文章理解演習【No.10】	51	適性検査演習【No.50】 文章理解演習【No.50】
12	適性検査演習【No.11】 文章理解演習【No.11】	52	適性検査演習【No.51】 文章理解演習【No.51】
13	適性検査演習【No.12】 文章理解演習【No.12】	53	適性検査演習【No.52】 文章理解演習【No.52】
14	適性検査演習【No.13】 文章理解演習【No.13】	54	適性検査演習【No.53】 文章理解演習【No.53】
15	適性検査演習【No.14】 文章理解演習【No.14】	55	適性検査演習【No.54】 文章理解演習【No.54】
16	適性検査演習【No.15】 文章理解演習【No.15】	56	適性検査演習【No.55】 文章理解演習【No.55】
17	適性検査演習【No.16】 文章理解演習【No.16】	57	適性検査演習【No.56】 文章理解演習【No.56】
18	適性検査演習【No.17】 文章理解演習【No.17】	58	適性検査演習【No.57】 文章理解演習【No.57】
19	適性検査演習【No.18】 文章理解演習【No.18】	59	適性検査演習【No.58】 文章理解演習【No.58】
20	適性検査演習【No.19】 文章理解演習【No.19】	60	適性検査演習【No.59】 文章理解演習【No.59】
21	適性検査演習【No.20】 文章理解演習【No.20】	61	適性検査演習【No.60】 文章理解演習【No.60】
22	適性検査演習【No.21】 文章理解演習【No.21】	62	適性検査演習【No.61】 文章理解演習【No.61】
23	適性検査演習【No.22】 文章理解演習【No.22】	63	適性検査演習【No.62】 文章理解演習【No.62】
24	適性検査演習【No.23】 文章理解演習【No.23】	64	適性検査演習【No.63】 文章理解演習【No.63】
25	適性検査演習【No.24】 文章理解演習【No.24】	65	適性検査演習【No.64】 文章理解演習【No.64】
26	適性検査演習【No.25】 文章理解演習【No.25】	66	適性検査演習【No.65】 文章理解演習【No.65】
27	適性検査演習【No.26】 文章理解演習【No.26】		
28	適性検査演習【No.27】 文章理解演習【No.27】		
29	適性検査演習【No.28】 文章理解演習【No.28】		
30	適性検査演習【No.29】 文章理解演習【No.29】		
31	適性検査演習【No.30】 文章理解演習【No.30】		
32	適性検査演習【No.31】 文章理解演習【No.31】		
33	適性検査演習【No.32】 文章理解演習【No.32】		
34	適性検査演習【No.33】 文章理解演習【No.33】		
35	適性検査演習【No.34】 文章理解演習【No.34】		
36	適性検査演習【No.35】 文章理解演習【No.35】		
37	適性検査演習【No.36】 文章理解演習【No.36】		
38	適性検査演習【No.37】 文章理解演習【No.37】		
39	適性検査演習【No.38】 文章理解演習【No.38】		
40	適性検査演習【No.39】 文章理解演習【No.39】		

3. 評価方法

出席率要件	10%	} 100%	備考欄
授業貢献度	—		
授業内のレポート・課題等	90%		
中間試験	—		
評定試験	—		

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	高卒程度公務員講座 適性検査問題演習, オリジナルプリント		
著者名	—	出版社	株式会社ウイネット

5. 実務教員の経歴

無

2023年4月1日

科目名	基礎自然科学	必修／選択	必修
対象クラス	警察・消防学科1年	開講時期	後期
教員名	山崎裕二	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

身の回りの自然現象に対する興味を促すことと同時に、単なる暗記ではなく原理原則に注目した授業とする。公務員試験の特徴である浅く広く出題されることを踏まえ、ポイントを絞らず極力まんべんなく学習を進める。定期的に演習の時間を取り、定着度の確認と今後の勉強の方針とする材料とする。

2. 授業計画

(1時限

45分

×

42回

＝

1890分

2単位

時間	指導単元			時間	指導単元		
1	物理	1	力の性質	41	予備		
2				42			
3	物理	2	物質の運動				
4							
5	物理	3	運動量・エネルギー				
6							
7	生物	1	細胞の構造と働き				
8							
9	生物	2	光合成・呼吸・酵素				
10							
11	生物	3	恒常性と調節				
12							
13	生物	4	刺激と反応				
14							
15	生物	5	遺伝				
16							
17	総合演習①						
18							
19	総合演習②						
20							
21	化学	4	化学反応				
22							
23	化学	1	物質の構成・化学結合				
24							
25	化学	2	周期表				
26							
27	化学	3	物質の状態				
28							
29	地学	4	地球・太陽・月				
30							
31	地学	5	太陽系・恒星				
32							
33	地学	6	大気と海洋				
34							
35	地学	7	天気				
36							
37	総合演習③						
38							
39	総合演習④						
40							

3. 評価方法

出席率	10%	} 100%	備考欄
授業貢献度	—		
授業内のレポート・課題等	10%		
中間試験	—		
期末試験	80%		

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	高卒程度 公務員試験対策 自然科学 テキスト&問題集		
著者名	株式会社ウイネット	出版社	株式会社ウイネット

5. 実務教員の経歴

無

2023年4月1日

科目名	基礎社会科学	必修／選択	必修
対象クラス	警察・消防学科1年	開講時期	後期
教員名	渡辺耀一郎	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

<p>テキストをベースに作成した、教員オリジナルプリントを用いて授業を展開する。 特に公務員試験において頻出である分野は、用語の解説など時間をかけて丁寧に指導する。</p>
--

2. 授業計画

(1時限

45分

×

60回

＝

2700分

4単位

時間	指導単元	時間	指導単元
1	政治 第1章 民主政治の成立	41	経済 第6章 財政と財政・金融政策
2	政治 第1章 民主政治の成立	42	経済 第6章 財政と財政・金融政策
3	政治 第1章 民主政治の成立	43	経済 第6章 財政と財政・金融政策
4	政治 第2章 世界の主な政治体制	44	経済 第6章 財政と財政・金融政策
5	政治 第2章 世界の主な政治体制	45	政治 第9章 現代政治の課題
6	政治 第3章 大日本帝国憲法と日本国憲法	46	政治 第9章 現代政治の課題
7	政治 第3章 大日本帝国憲法と日本国憲法	47	政治 第9章 現代政治の課題
8	政治 第4章 基本的人権の尊重	48	政治 第10章 国際法と国連
9	政治 第4章 基本的人権の尊重	49	政治 第10章 国際法と国連
10	政治 第4章 基本的人権の尊重	50	政治 第10章 国際法と国連
11	政治 第4章 基本的人権の尊重	51	政治 第11章 国際政治の課題
12	政治 第5章 国会	52	政治 第11章 国際政治の課題
13	政治 第5章 国会	53	経済 第7章 日本経済の発展
14	政治 第5章 国会	54	経済 第7章 日本経済の発展
15	政治 第5章 国会	55	経済 第7章 日本経済の発展
16	政治 第6章 内閣	56	経済 第8章 貿易と国際収支
17	政治 第6章 内閣	57	経済 第8章 貿易と国際収支
18	政治 第6章 内閣	58	経済 第9章 国際経済
19	政治 第7章 裁判所	59	経済 第9章 国際経済
20	政治 第7章 裁判所	60	後期評定試験
21	政治 第7章 裁判所		
22	政治 第8章 地方自治		
23	政治 第8章 地方自治		
24	政治 第8章 地方自治		
25	前期評定試験		
26	経済 第1章 市場と需要・供給曲線		
27	経済 第1章 市場と需要・供給曲線		
28	経済 第1章 市場と需要・供給曲線		
29	経済 第1章 市場と需要・供給曲線		
30	経済 第2章 企業		
31	経済 第2章 企業		
32	経済 第2章 企業		
33	経済 第3章 経済学		
34	経済 第4章 国富と経済成長		
35	経済 第4章 国富と経済成長		
36	経済 第4章 国富と経済成長		
37	経済 第5章 金融		
38	経済 第5章 金融		
39	経済 第5章 金融		
40	経済 第5章 金融		

3. 評価方法

出席	5%	} 100%	備考欄 原則、中間試験と期末試験(評定試験)の点数をもとに成績評価を行う。
授業貢献度	—		
授業内のレポート・課題等	0%		
中間試験	45%		
期末試験	50%		

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	高卒程度公務員試験対策 社会科学テキスト ならびに 自作プリント		
著者名	株式会社ウイネット	出版社	株式会社ウイネット

5. 実務教員の経歴

無

科目名	基礎人文科学A	必修／選択	必修
対象クラス	公務員ビジネス学科1年	開講時期	前期
教員名	片岡克教	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

テキストを中心に、より実践的な知識の確認・定着を図る。地図帳を頻繁に確認し、ビジュアルイメージを作ることが心掛ける。
 單元ごとにオリジナル教材の一問一答確認テストを行い、基本的知識の定着を図る。
 1年次授業の知識復習と+αの知識定着を図ることに重点を置く。

2. 授業計画 (1時限 45分 × 30回 = 1350分 2単位)

時間	指導單元	時間	指導單元
1	①自然環境		
2	自然環境Ⅱ		
3	②気候・土壌		
4	気候・土壌Ⅱ		
5	気候・土壌Ⅲ		
6	気候・土壌Ⅳ		
7	③民族・人口・交通・地図		
8	民族・人口・交通・地図Ⅱ		
9	④世界の農林業		
10	世界の農林業Ⅱ		
11	⑤世界の鉱工業		
12	世界の鉱工業Ⅱ		
13	⑥アジア・アフリカ		
14	アジア・アフリカⅡ		
15	⑦ヨーロッパ		
16	ヨーロッパⅡ		
17	⑧南北アメリカ・オセアニア		
18	南北アメリカ・オセアニアⅡ		
19	⑨日本の自然・貿易		
20	日本の自然・貿易Ⅱ		
21	⑩日本の産業		
22	日本の産業Ⅱ		
23	⑪世界の都市、公害・環境問題		
24	世界の都市、公害・環境問題Ⅱ		
25	問題演習		
26	問題演習		
27	問題演習		
28	問題演習		
29	確認テスト		
30	確認テスト		

3. 評価方法

出席	40%	} 100%	備考欄
授業貢献度	20%		
授業内のレポート・	—		
中間試験	40%		
期末試験	—		

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	高卒程度公務員講座シリーズ一般知識講義編上、同解説編上、同ワークブック上、自作プリント		
著者名	株式会社ウィネット	出版社	株式会社ウィネット

5. 実務教員の経歴

無

2023年4月1日

科目名	基礎人文科学B	必修／選択	必修
対象クラス	公務員ビジネス学科1年	開講時期	後期
教員名	小池あゆ子	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

<p>公務員試験1次合格のための基礎作りが目的である。授業は講義編・補助プリントを中心に行う。 内容は基礎事項の確認と歴史の流れを掴んでもらい、歴史への抵抗をなくして、興味を持たせる(人物に関するエピソードや雑学を盛り込む)。 解説編で補足をし、家庭で復習として読むようにする。簡単な確認テストを定期的に行う。後期、人文科学Bへのスムーズな導入を図る。</p>
--

2. 授業計画

(1時限

45分

×

36回

＝

1620分

2単位

時間	指導単元	時間	指導単元
1	(日)6章.江戸時代 幕府政治の進展～幕藩体制の動揺		
2	(日)6章.江戸時代 幕藩体制の危機～元禄・化政文化		
3	(世)6章.イスラム世界の形成と発展		
4	(世)6章.イスラム世界の形成と発展		
5	(日)7章.明治時代 幕府権力の崩壊		
6	(日)7章.明治時代 明治維新		
7	(世)7章.市民革命 ピューリタン革命		
8	(世)7章.市民革命 列強のアジア進出		
9	(日)7章.明治時代 絶対主義の確立		
10	(日)7章.明治時代 日清日露戦争		
11	(世)7章.市民革命 アメリカ独立革命		
12	(世)7章.市民革命 産業革命		
13	(日)7章.明治時代 産業革命		
14	(日)7章.明治時代 条約改正		
15	(世)7章.市民革命 フランス革命		
16	(世)7章.市民革命 ウィーン会議		
17	(日)8章.現代 大正時代		
18	(日)8章.現代 昭和時代前期～中期		
19	(世)7章.市民革命 ウィーン体制		
20	(世)7章.市民革命 自由主義の進展		
21	(日)8章.現代 昭和時代中期～後期		
22	(日)8章.現代 昭和時代後期～晩期		
23	(世)7章.市民革命 自由主義の進展		
24	(世)7章.市民革命 ウィーン体制の崩壊		
25	(日)8章.現代 平成不況		
26	(日)8章.現代 自民党政権の崩壊		
27	(世)8章.ヨーロッパ諸国の東進 インドの植民地化		
28	(世)8章.ヨーロッパ諸国の東進 中国の植民地化		
29	(世)8章.ヨーロッパ諸国の東進 帝国主義		
30	(世)9章.現代社会 第一次世界大戦		
31	(世)9章.現代社会 第一次世界大戦後の世界		
32	(世)9章.現代社会 第二次世界大戦		
33	(世)9章.現代社会 冷戦		
34	(世)9章.現代社会 現代の世界		
35	確認テスト		
36	確認テスト		
37			
38			
39			
40			

3. 評価方法

出席	40%	} 100%	備考欄
授業貢献度	20%		
授業内のレポート・	—		
中間試験	—		
期末試験	40%		

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	高卒程度公務員講座シリーズ一般知識講義編上、同解説編上、同ワークブック上、自作プリント		
著者名	株式会社ウィネット	出版社	株式会社ウィネット

5. 実務教員の経歴

無

2023年4月1日

科目名	基礎数的推理	必修／選択	必修
対象クラス	警察・消防学科1年	開講時期	通年
教員名	山崎裕二	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

- 数理的な課題を通し、基本的な計算力を鍛えながら、正答を導くための論理的な思考力を育成することを目的とする。
- 中学～高校の計算・方程式などの基本内容の理解を深めながら、初級公務員試験レベルに対応できる得点力を育成する。

2. 授業計画 (1時限 45分 × 90回 = 4050分 6単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1		46	
2	数と式の基本	47	その他数量問題
3		48	
4		49	
5	約数・倍数, 記数法	50	三角形と多角形
6		51	
7		52	
8	方程式の応用	53	円
9		54	
10		55	
11	連立方程式	56	総合演習④
12		57	
13		58	
14	総合演習①	59	面積・角度
15		60	
16		61	
17	不等式	62	立体図形
18		63	
19		64	
20	時間・距離・速さ(1)	65	場合の数
21		66	
22		67	
23	時間・距離・速さ(2)	68	総合演習⑤
24		69	
25		70	
26	総合演習②	71	順列・組合せ
27		72	
28		73	
29	割合・比	74	確率(1)
30		75	
31		76	
32	濃度	77	確率(2)
33		78	
34		79	
35	仕事算	80	総合演習⑥
36		81	
37		82	
38	数列, 規則	83	総合演習<1>
39		84	
40		85	総合演習<2>
41	総合演習③	86	総合演習<3>
42		87	
43		88	
44	魔方陣, 覆面算	89	総合演習<4>
45		90	予備

3. 評価方法

出席	10%	} 100%	備考欄
授業貢献度	—		
授業内のレポート・課題等	10%		
中間試験	40%		
期末試験	40%		

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	高卒程度公務員試験対策 数的処理(数的推理)・資料解釈テキスト&問題集 / 自作演習プリント		
著者名	株式会社ウイネット	出版社	株式会社ウイネット

5. 実務教員の経歴

無

2023年4月1日

科目名	基礎判断推理	必修／選択	必修
対象クラス	警察・消防学科1年	開講時期	通年
教員名	池田友昭	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

<p>【重点目標】 入学から1年半後の本試験において7割以上の正答率を目標とする</p> <p>【指導方法】 対面授業を基本とする。復習、補講用にリモート動画も配信する。上記目標を達成するため、テキスト&演習ブックを使用した問題演習及び解説を対面授業の中心とする。理解の及ばない学生に対しては、補講の実施や補助プリントの作成等を行い成績向上の一助とする。 (単元ごとの過年度における学生理解達成状況を分析し、復習用の授業動画を適宜配信する)</p>
--

2. 授業計画 (1時限 45分 × 93回 = 4185分 6単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	5章 試合の勝敗 <例題>	44	7章 手順・操作, 数量, 規則性 <演習問題>
2	5章 試合の勝敗 <例題>	45	7章 手順・操作, 数量, 規則性 <演習問題>
		46	8章 発言推理 <例題>
3	5章 試合の勝敗 <演習問題>	47	8章 発言推理 <演習問題>
4	5章 試合の勝敗 <演習問題>		
		48	8章 発言推理 <演習問題>
5	5章 試合の勝敗 <演習問題>	49	8章 発言推理 <演習問題>
6	5章 試合の勝敗 <演習問題>	50	8章 発言推理 <演習問題>
		51	8章 発言推理 <演習問題>
7	2章 暗号 <例題>		
8	2章 暗号 <演習問題>	52	9章 道順・一筆書き <例題>
		53	9章 道順・一筆書き <演習問題>
9	2章 暗号 <演習問題>	54	9章 道順・一筆書き <演習問題>
10	2章 暗号 <演習問題>	55	9章 道順・一筆書き <演習問題>
11	3章 対応関係 <例題>	56	10章 平面構成・平面分割 <例題>
12	3章 対応関係 <演習問題>	57	10章 平面構成・平面分割 <演習問題>
		58	10章 平面構成・平面分割 <演習問題>
13	3章 対応関係 <演習問題>	59	10章 平面構成・平面分割 <演習問題>
14	3章 対応関係 <演習問題>		
		60	10章 平面構成・平面分割 <演習問題>
15	3章 対応関係 <演習問題>	61	10章 平面構成・平面分割 <演習問題>
16	3章 対応関係 <演習問題>	62	11章 軌跡・回転 <例題>
		63	11章 軌跡・回転 <例題>
17	4章 順序関係 <例題>		
18	4章 順序関係 <例題>	64	11章 軌跡・回転 <演習問題>
		65	11章 軌跡・回転 <演習問題>
19	4章 順序関係 <演習問題>	66	11章 軌跡・回転 <演習問題>
20	4章 順序関係 <演習問題>	67	11章 軌跡・回転 <演習問題>
21	4章 順序関係 <演習問題>	68	評定試験②(30点分) 6~11章
22	4章 順序関係 <演習問題>		
		69	12章 立体図形の構成 <例題>
23		70	12章 立体図形の構成 <演習問題>
24		71	12章 立体図形の構成 <演習問題>
		72	12章 立体図形の構成 <演習問題>
25	1章 論理と集合 <演習問題>		
26	1章 論理と集合 <演習問題>	73	13章 展開図 <例題>
		74	13章 展開図 <演習問題>
27	1章 論理と集合 <演習問題>	75	13章 展開図 <演習問題>
28	1章 論理と集合 <演習問題>	76	13章 展開図 <演習問題>
29	1章 論理と集合 <演習問題>	77	14章 サイコロ <例題>
30	1章 論理と集合 <演習問題>	78	14章 サイコロ <演習問題>
		79	14章 サイコロ <演習問題>
31	評定試験①(40点分) 5章・2章・3章・4章・1章	80	14章 サイコロ <演習問題>
32	6章 方位・位置関係 <例題>	81	15章 折り紙・重ね合わせ <例題>
33	6章 方位・位置関係 <演習問題>	82	15章 折り紙・重ね合わせ <演習問題>
34	6章 方位・位置関係 <演習問題>	83	15章 折り紙・重ね合わせ <演習問題>
35	6章 方位・位置関係 <演習問題>	84	15章 折り紙・重ね合わせ <演習問題>
36	6章 方位・位置関係 <演習問題>	85	16章 投影図 <例題>
37	6章 方位・位置関係 <演習問題>	86	16章 投影図 <演習問題>
38	7章 手順・操作, 数量, 規則性 <例題>	87	16章 投影図 <演習問題>
39	7章 手順・操作, 数量, 規則性 <例題>	88	16章 投影図 <演習問題>
40	7章 手順・操作, 数量, 規則性 <演習問題>	89	17章 立体図形の切断・回転 <例題>
41	7章 手順・操作, 数量, 規則性 <演習問題>	90	17章 立体図形の切断・回転 <演習問題>
42	7章 手順・操作, 数量, 規則性 <演習問題>	91	17章 立体図形の切断・回転 <演習問題>
43	7章 手順・操作, 数量, 規則性 <演習問題>	92	17章 立体図形の切断・回転 <演習問題>
		93	評定試験③(30点分) 12~17章

3. 評価方法

出席率要件	80%以上	ABCD評価 D=単位未修得	備考欄 ◎ 期末評定試験は7月、10月、2月に3回実施、100点満点とする。
授業貢献度	—		
授業内のレポート・課題等	参考程度		
中間試験	—		
評定試験3回分	100点満点		

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	高卒程度公務員試験対策 課題処理(判断推理)テキスト&問題集、自作プリント	出版社	株式会社ウイネット
著者名	株式会社ウイネット		

5. 実務教員の経歴

無

科目名	公安公務員概論／防災法	必修／選択	選択(公安概論:警察コース, 防災法:消防コース)
対象クラス	警察・消防学科1年	開講時期	通年
教員名	宮村広栄／田中隆浩	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

・救助, 救急救命, 公安系職業の基礎知識について、各種資料や公務員経験者の講義から理解させる
・映像資料, 手記等を用いてリアリティのある授業を展開して理解を深めさせる
・警察, 消防, 自衛隊の実際の活動を見学することで職業観をより具体的に考えさせる

2. 授業計画

(1時限

45分

×

30回

=

1350分

2単位

時間	指導単元	時間	指導単元
1	公務員基礎知識		
2	公安系公務員基礎知識		
3	公安系公務員基礎知識		
4	公安系公務員基礎知識		
5	法律から見る公安系の氏名と職責		
6	法律から見る公安系の氏名と職責		
7	資料・手記等の事例から学ぶ公安系マインド		
8	資料・手記等の事例から学ぶ公安系マインド		
9	資料・手記等の事例から学ぶ公安系マインド		
10	OB・OGの事例から学ぶ公安系公務員の実態		
11	OB・OGの事例から学ぶ公安系公務員の実態		
12	OB・OGの事例から学ぶ公安系公務員の実態		
13	災害の種類・現状・課題		
14	災害の種類・現状・課題		
15	応急手当の基本		
16	動画で見る公安系の使命と職責		
17	動画で見る公安系の使命と職責		
18	動画で見る公安系の使命と職責		
19	動画で見る公安系の使命と職責		
20	動画で見る公安系の使命と職責		
21	面接カード作成		
22	面接カード作成		
23	面接カード作成		
24	OB・OGの事例から学ぶ公安系公務員の実態2		
25	OB・OGの事例から学ぶ公安系公務員の実態2		
26	OB・OGの事例から学ぶ公安系公務員の実態2		
27	警察・消防学科2年生の受験体験談		
28	警察・消防学科2年生の受験体験談		
29	警察・消防学科2年生の受験体験談		
30	警察・消防学科2年生の受験体験談		

3. 評価方法

出席	90%	}	100%	備考欄
授業貢献度	—			
授業内のレポート・課題等	10%			
中間試験	—			
期末試験	—			

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	—	出版社	—
著者名	—	出版社	—

5. 実務教員の経歴

有

科目名	論文対策	必修/選択	必修
対象クラス	警察・消防学科1年	開講時期	通年
教員名	工藤亜佐子	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

・作文の知識の習得, 文章作成技術の向上
 ・公務員試験必須の作文試験対策として、基礎基本から応用まで1年間かけてレベルアップを目指す

実践授業計画		(1時限	45分	×	32回	=	1440分	2単位
時間	指導単元	時間	指導単元					
1	原稿用紙の使い方							
2	原稿用紙の使い方							
3	公安系公務員の基礎知識							
4	公安系公務員の基礎知識							
5	第1回作文実施							
6	第1回作文実施							
7	添削済み作文の見直し							
8	添削済み作文の見直し							
9	第2回作文実施							
10	第2回作文実施							
11	添削済み作文の見直し							
12	添削済み作文の見直し							
13	第3回作文実施							
14	第3回作文実施							
15	添削済み作文の見直し							
16	添削済み作文の見直し							
17	第4回作文実施							
18	第4回作文実施							
19	添削済み作文の見直し							
20	添削済み作文の見直し							
21	第5回作文実施							
22	第5回作文実施							
23	添削済み作文の見直し							
24	添削済み作文の見直し							
25	第6回作文実施							
26	第6回作文実施							
27	添削済み作文の見直し							
28	添削済み作文の見直し							
29	第7回作文実施							
30	第7回作文実施							
31	添削済み作文の見直し							
32	添削済み作文の見直し							

3. 評価方法

出席率	100%	} 100%
授業貢献度	—	
授業内のレポート・課題等	—	
中間試験	—	
期末試験	—	

4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	—	出版社	—
著者名	—		

5. 実務教員の経歴

無

科目名	国語	必修／選択	必修
対象クラス	警察・消防学科1年	開講時期	前期
教員名	山崎裕二／渡辺耀一朗	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

【重点目標】 公務員試験に向けて、漢字検定3級合格程度の知識習得を図る 【指導方法】 漢字検定過去問題に取り組みさせることで、作文・論文に必要な知識を得る あわせて四字熟語、文法等についても理解を深める

実践 授業計画 (1時限 45分 × 30回 = 1350分 2単位)

時間	指導单元	時間	指導单元
1	漢字検定過去問題		
2	漢字検定過去問題		
3	漢字検定過去問題		
4	漢字検定過去問題		
5	確認テスト		
6	漢字検定過去問題		
7	漢字検定過去問題		
8	漢字検定過去問題		
9	漢字検定過去問題		
10	確認テスト		
11	漢字検定過去問題		
12	漢字検定過去問題		
13	漢字検定過去問題		
14	漢字検定過去問題		
15	確認テスト		
16	漢字検定過去問題		
17	漢字検定過去問題		
18	漢字検定過去問題		
19	漢字検定過去問題		
20	確認テスト		
21	漢字検定過去問題		
22	漢字検定過去問題		
23	漢字検定過去問題		
24	漢字検定過去問題		
25	確認テスト		
26	漢字検定過去問題		
27	漢字検定過去問題		
28	漢字検定過去問題		
29	漢字検定過去問題		
30	確認テスト		

3. 評価方法

出席率	10%	} 100%	備考欄
授業貢献度	—		
授業内のレポート・課題等	—		
中間試験	—		
期末試験	90%		

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	漢字検定過去問題		
著者名	公益財団法人日本漢字能力検定協会	出版社	公益財団法人日本漢字能力検定協会

5. 実務教員の経歴

無

2023年4月1日

科目名	公務員試験演習I	必修／選択	必修
対象クラス	警察・消防学科1年	開講時期	後期
教員名	山崎裕二／渡辺耀一朗	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

- ・公務員試験合格を目指し、教養得点力の定着を図る
- ・模擬試験に対する意識付けを行い、各クラスが切磋琢磨し合う環境づくりを行う
- ・既習内容を確実に得点へつなげるため、ポイントを絞った解説授業を展開する

2. 授業計画

(1時限 45分 × 108回 = 4860分)

7単位

時間	指導単元	時間	指導単元	時間	指導単元
1	第1回校内模試	41	第9回校内模試	81	第2回統一模試
2	第1回校内模試	42	第9回校内模試	82	第2回統一模試
3	第1回校内模試	43	第9回校内模試	83	第2回統一模試
4	解説授業	44	解説授業	84	解説授業
5	解説授業	45	解説授業	85	解説授業
6	第2回校内模試	46	第10回校内模試	86	第3回校内模試
7	第2回校内模試	47	第10回校内模試	87	第3回校内模試
8	第2回校内模試	48	第10回校内模試	88	第3回校内模試
9	解説授業	49	解説授業	89	解説授業
10	解説授業	50	解説授業	90	解説授業
11	第3回校内模試	51	第11回校内模試	91	第4回校内模試
12	第3回校内模試	52	第11回校内模試	92	第4回校内模試
13	第3回校内模試	53	第11回校内模試	93	第4回校内模試
14	解説授業	54	解説授業	94	解説授業
15	解説授業	55	解説授業	95	解説授業
16	第4回校内模試	56	第12回校内模試	96	第5回校内模試
17	第4回校内模試	57	第12回校内模試	97	第5回校内模試
18	第4回校内模試	58	第12回校内模試	98	第5回校内模試
19	解説授業	59	解説授業	99	解説授業
20	解説授業	60	解説授業	100	解説授業
21	第5回校内模試	61	第13回校内模試	101	予備日
22	第5回校内模試	62	第13回校内模試	102	予備日
23	第5回校内模試	63	第13回校内模試	103	予備日
24	解説授業	64	解説授業	104	予備日
25	解説授業	65	解説授業	105	予備日
26	第6回校内模試	66	第14回校内模試	106	予備日
27	第6回校内模試	67	第14回校内模試	107	予備日
28	第6回校内模試	68	第14回校内模試	108	予備日
29	解説授業	69	解説授業		
30	解説授業	70	解説授業		
31	第7回校内模試	71	第15回校内模試		
32	第7回校内模試	72	第15回校内模試		
33	第7回校内模試	73	第15回校内模試		
34	解説授業	74	解説授業		
35	解説授業	75	解説授業		
36	第8回校内模試	76	第1回統一模試		
37	第8回校内模試	77	第1回統一模試		
38	第8回校内模試	78	第1回統一模試		
39	解説授業	79	解説授業		
40	解説授業	80	解説授業		

3. 評価方法

校内模試平均点	60%	} 100%	備考欄
統一模試平均点	40%		

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	高卒程度公務員試験対策校内模擬試験(全15回), 高卒程度公務員試験対策統一模擬試験(全5回)		
著者名	—	出版社	ウィネット株式会社

5. 実務教員の経歴

無

2023年4月1日

科目名	キャリアデザインII	必修／選択	必修
対象クラス	警察・消防学科2年	開講時期	通年
教員名	粕谷草太／夏野龍	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

【重点目標】 公務員試験、民間就職活動における2次面接試験合格(採用)を目指す
【指導方法】 対面授業により履歴書&各種面接シートを作成指導する。5月特別試験1次合格者を対象に、6月に模擬面接指導。10～11月には公務員試験1次合格者に対し模擬面接指導を個別に実施し最終合格率アップを目指す。他の時期においても、一般企業受験者を対象に個別面接対策を実施していく。時期に応じて公務員試験申込み方法を指導する。

2. 授業計画 (1時限 45分 × 90回 = 4050分 6単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	履歴書作成 4月	25	9月第2週目公務員試験・想定問答プリント 6月
2	履歴書作成 4月	26	9月第2週目公務員試験・想定問答プリント 6月
3	9月第1週目の公務員試験、面接シート作成 ① 4月	27	9月第3週目の公務員試験、面接シート作成 ① 7月
4	9月第1週目の公務員試験、面接シート作成 ① 4月	28	9月第3週目の公務員試験、面接シート作成 ① 7月
5	9月第1週目の公務員試験、面接シート作成 ② 4月	29	9月第3週目の公務員試験、面接シート作成 ② 7月
6	9月第1週目の公務員試験、面接シート作成 ② 4月	30	9月第3週目の公務員試験、面接シート作成 ② 7月
7	9月第1週目の公務員試験、面接シート作成 ③ 4月	31	9月第3週目の公務員試験、面接シート作成 ③ 7月
8	9月第1週目の公務員試験、面接シート作成 ③ 4月	32	9月第3週目の公務員試験、面接シート作成 ③ 7月
9	9月第1週目の公務員試験、面接シート作成 ④ 4月	33	9月第3週目の公務員試験、面接シート作成 ④ 7月
10	9月第1週目の公務員試験、面接シート作成 ④ 4月	34	9月第3週目の公務員試験、面接シート作成 ④ 7月
連休	課題:海保、県警(5月特別試験)の面接シート作成	35	9月第4週目の公務員試験、面接シート作成 ① 8月
連休	履歴書の完成	36	9月第4週目の公務員試験、面接シート作成 ① 8月
連休	9月第1週目の公務員試験、面接シート 完成		
		37	9月第4週目の公務員試験、面接シート作成 ② 8月
11	国家公務員(一般職・税務)想定問答プリント 5月	38	9月第4週目の公務員試験、面接シート作成 ② 8月
12	国家公務員(一般職・税務)想定問答プリント 5月		
		39	9月第4週目の公務員試験、面接シート作成 ③ 8月
13	5月特別試験2次対策・想定問答プリント 5月	40	9月第4週目の公務員試験、面接シート作成 ③ 8月
14	5月特別試験2次対策・想定問答プリント 5月		
		41	9月第4週目の公務員試験、面接シート作成 ④ 8月
15	9月第2週目の公務員試験、面接シート作成 ① 5月	42	9月第4週目の公務員試験、面接シート作成 ④ 8月
16	9月第2週目の公務員試験、面接シート作成 ① 5月		
		43	公務員試験2次面接対策(個別模擬面接) 9月
17	9月第2週目の公務員試験、面接シート作成 ② 6月		公務員試験2次面接対策(個別模擬面接) 10月
18	9月第2週目の公務員試験、面接シート作成 ② 6月		公務員試験2次面接対策(個別模擬面接) 10月
			公務員試験2次面接対策(個別模擬面接) 10月
19	面接試験、入退室のあり方 6月		公務員試験2次面接対策(個別模擬面接) 10月
20	面接試験、入退室のあり方 6月		公務員試験2次面接対策(個別模擬面接) 11月
	※ 放課後、5月特別試験2次面接対策	90	公務員試験2次面接対策(個別模擬面接) 11月
21	9月第2週目の公務員試験、面接シート作成 ③ 6月		
22	9月第2週目の公務員試験、面接シート作成 ③ 6月		
	※ 放課後、5月特別試験2次面接対策		
23	9月第2週目の公務員試験、面接シート作成 ④ 6月		
24	9月第2週目の公務員試験、面接シート作成 ④ 6月		
	※ 放課後、5月特別試験2次面接対策		

3. 評価方法

出席率要件	80%以上	} ABCD評価 D=単位未修得	備考欄 ◎ 11月時点で公務員試験最終合格者、一般企業内定者をA評価とする
授業貢献度	—		
授業内のレポート・課題等	提出重視		
評定試験	実施せず		
面接試験	結果重視		

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	オリジナルプリント、他	出版社	—
著者名	—		

5. 実務教員の経歴

無

科目名	コミュニケーション研修Ⅱ	必修／選択	必修
対象クラス	警察・消防学科2年	開講時期	通年
教員名	粕谷草太／夏野龍	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

<ul style="list-style-type: none">●ヴァーチャル海外研修●ホテルイタリア軒日帰り研修●NCOOLスポーツ大会●実践行動学 <p>左記4つの研修等を通じて、学生のコミュニケーション能力・対応力を育成する。</p>

2. 授業計画 (1時限 45分 × 23回 = 1035分 1単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	ヴァーチャル海外研修 1日目 1コマ目(7月実施)		
2	ヴァーチャル海外研修 1日目 2コマ目(7月実施)		
3	ヴァーチャル海外研修 2日目 1コマ目(7月実施)		
4	ヴァーチャル海外研修 2日目 2コマ目(7月実施)		
5	ヴァーチャル海外研修 3日目 1コマ目(7月実施)		
6	ヴァーチャル海外研修 3日目 2コマ目(7月実施)		
7	ホテルイタリア軒 日帰り研修		
8	ホテルイタリア軒 日帰り研修		
9	ホテルイタリア軒 日帰り研修		
10	ホテルイタリア軒 日帰り研修		
11	ホテルイタリア軒 日帰り研修		
12	ホテルイタリア軒 日帰り研修		
13	NCOOLスポーツ大会		
14	NCOOLスポーツ大会		
15	NCOOLスポーツ大会		
16	NCOOLスポーツ大会		
17	NCOOLスポーツ大会		
18	NCOOLスポーツ大会		
19	実践行動学		
20	実践行動学		
21	実践行動学		
22	実践行動学		
23	実践行動学		

3. 評価方法

出席率のみで評価する <ul style="list-style-type: none">●出席率90%以上(21コマ以上) … A評価●出席率80%以上(19コマ以上) … B評価●出席率75%以上(18コマ以上) … C評価	備考欄 ・出席率75%未満の場合は、別途研修やボランティア活動等に参加することで単位認定とする
---	--

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	—	出版社	—
著者名	—		

5. 実務教員の経歴

無

2023年4月1日

科目名	コンピュータ実習II	必修/選択	必修
対象クラス	警察・消防学科2年	開講時期	後期
教員名	鹿熊真弓	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを使用し、Excelの基本操作を習得する ・練習プリントを使用し、応用力を身に付ける ・検定問題集を使用し、検定3級合格を目指す

2. 授業計画 (1時限 45分 × 40回 = 1800分 2単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	第1部 Chapter1 Excelの基本		
2	Chapter2 データの編集		
3	Chapter3 表の編集		
4	Chapter4 ブックの印刷		
5	プリント:練習1-1,1-2,2-1,2-2(SUM,AVERAGE)		
6	プリント:復習問題1(SUM)		
7	プリント:復習問題2(AVERAGE)		
8	プリント:3-1,3-2,3-3,3-4(四則演算,絶対参照)		
9	プリント:復習問題3(四則演算)		
10	プリント:復習問題3-2(絶対参照)		
11	プリント:4-1,4-2(複雑な罫線)		
12	プリント:復習問題4(複雑な罫線)		
13	Chapter7 関数		
14	Chapter7 関数		
15	Chapter8 データベース		
16	プリント:5-1,5-2(関数)		
17	プリント:5-3,5-4(データベース)		
18	プリント:復習問題5(関数,MAX,MIN,COUNT,COUNTA)		
19	プリント:5-2(関数:ROUND系,IF,RANK.EQ)		
20	プリント:6-1,6-2(見積書,請求書)		
21	Chapter5 グラフと図形の作成		
22	プリント:7-1,7-2,7-3,7-4(グラフ:縦棒・横棒・円・折れ線)		
23	プリント:7-5,7-6(グラフ:レーダーチャート,複合グラフ)		
24	Chapter6 ブックの管理		
25	Chapter2~8の練習問題		
26	Chapter2~8の練習問題		
27	第2部 総合学習問題		
28	第2部 総合学習問題		
29	問題集 練習問題1		
30	問題集 練習問題2		
31	問題集 練習問題3		
32	問題集 模擬問題1		
33	問題集 模擬問題2		
34	問題集 模擬問題3		
35	問題集 模擬問題4		
36	問題集 模擬問題5		
37	問題集 模擬問題6		
38	問題集 模擬問題7		
39	模擬問題演習		
40	模擬問題演習		

3. 評価方法

出席率	75%	} 100%	備考欄
授業貢献度	—		
授業内のレポート・課題等	20%		
中間試験	—		
期末試験・検定試験	5%		

4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	Excel2019クイックマスター<基礎編>, Excel表計算処理技能認定試験3級問題集2019対応版		
著者名	サーティファイ ソフトウェア活用能力認定委員会	出版社	株式会社サーティファイ

5. 実務教員の経歴

無

2023年4月1日

科目名	公務員試験演習Ⅱ	必修／選択	必修
対象クラス	警察・消防学科2年	開講時期	前期
教員名	粕谷草太／夏野龍	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

実務教育出版「公務員模擬試験」「学内模擬試験」「公開模擬試験」を実施する。(模試1回につき3コマ分／作文がある回は4コマ分)
実施後は対面で解説授業を行ったり、学生が各自復習したりする時間を設けて、丁寧に模試復習を行うよう指導する。
また、解説動画の配信を行い、週末等を利用して復習できる環境も整える。

8月は「夏期対策講座」のなかで引き続き、実務教育出版模試を行う。

2. 授業計画

(1時限

45分

×

75回

＝

3375分

5単位

時間	指導単元	時間	指導単元
1	学内模擬試験①	41	学内模擬試験⑥
2	学内模擬試験①	42	学内模擬試験⑥
3	学内模擬試験①	43	学内模擬試験⑥
4	学内模擬試験① 解説・復習	44	学内模擬試験⑥ 解説・復習
5	学内模擬試験① 解説・復習	45	学内模擬試験⑥ 解説・復習
6	学内模擬試験②	46	公務員模擬試験④
7	学内模擬試験②	47	公務員模擬試験④
8	学内模擬試験②	48	公務員模擬試験④
9	学内模擬試験② 解説・復習	49	公務員模擬試験④ 作文
10	学内模擬試験② 解説・復習	50	公務員模擬試験④ 解説・復習
11	公務員模擬試験①	51	学内模擬試験⑦
12	公務員模擬試験①	52	学内模擬試験⑦
13	公務員模擬試験①	53	学内模擬試験⑦
14	公務員模擬試験① 作文	54	学内模擬試験⑦ 解説・復習
15	公務員模擬試験① 解説・復習	55	学内模擬試験⑦ 解説・復習
16	学内模擬試験③	56	高卒・短大卒程度公務員 公開模擬試験
17	学内模擬試験③	57	高卒・短大卒程度公務員 公開模擬試験
18	学内模擬試験③	58	高卒・短大卒程度公務員 公開模擬試験
19	学内模擬試験③ 解説・復習	59	高卒・短大卒程度公務員 公開模擬試験 作文
20	学内模擬試験③ 解説・復習	60	高卒・短大卒程度公務員 公開模擬試験 解説・復習
21	公務員模擬試験②	61	警察官・消防官 公開模擬試験
22	公務員模擬試験②	62	警察官・消防官 公開模擬試験
23	公務員模擬試験②	63	警察官・消防官 公開模擬試験
24	公務員模擬試験② 作文	64	警察官・消防官 公開模擬試験 作文
25	公務員模擬試験② 解説・復習	65	警察官・消防官 公開模擬試験 解説・復習
26	学内模擬試験④	66	公務員模擬試験⑤
27	学内模擬試験④	67	公務員模擬試験⑤
28	学内模擬試験④	68	公務員模擬試験⑤
29	学内模擬試験④ 解説・復習	69	公務員模擬試験⑤ 作文
30	学内模擬試験④ 解説・復習	70	公務員模擬試験⑤ 解説・復習
31	公務員模擬試験③	71	学内模擬試験⑧
32	公務員模擬試験③	72	学内模擬試験⑧
33	公務員模擬試験③	73	学内模擬試験⑧
34	公務員模擬試験③ 作文	74	学内模擬試験⑧ 解説・復習
35	公務員模擬試験③ 解説・復習	75	学内模擬試験⑧ 解説・復習
36	学内模擬試験⑤		
37	学内模擬試験⑤		
38	学内模擬試験⑤		
39	学内模擬試験⑤ 解説・復習		
40	学内模擬試験⑤ 解説・復習		

3. 評価方法

模擬試験の結果を集計し、評価する。出席状況を加味するために、平均点ではなく合計点を基準とする。

なお、公欠等で模試当日(標準実施日:火曜日)に実施できなかった場合、答案発送締切日までに提出できれば有効とする。

A評価 330点(平均22点×15回)以上

C評価 180点(平均12点×15回)以上

B評価 270点(平均18点×15回)以上

D評価 180点未満

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	公務員模擬試験／学内模擬試験／公開模擬試験		
著者名	—	出版社	株式会社実務教育出版

5. 実務教員の経歴

無

2023年4月1日

科目名	教養対策実践演習	必修／選択	必修
対象クラス	警察・消防学科2年	開講時期	前期
教員名	粕谷 草太／夏野 龍	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

<p>【重点目標】公務員試験1次合格を目指し、出題傾向を熟知させる。 【指導方法】毎週末、金曜日の午後を原則とし教養対策実践演習を実施する。 復習・やり直しを重視するため解説動画を送信し、翌週の月曜日に「やり直しプリント学習済み」を回収する。</p>

2. 授業計画

(1時限

45分

×

45回

＝

2025分

3単位

時間	指導単元	時間	指導単元
	<3月>		<6月>
	2021. 海保5月特別試験対策	25	
		26	2022. 裁判所一般職対策
	<4月>	27	
1		28	
2	2022. 海保5月特別試験対策	29	2022. 東京都職員Ⅲ類対策
3		30	
4		31	
5	2022. 国家一般職税務対策 適性試験あり	32	2021. 東京特別区Ⅲ類対策
6		33	
7		34	
8	2020. 海保5月特別試験対策	35	2020. 国家一般職税務対策 適性試験あり
9		36	
10			
11	2019. 海保5月特別試験対策		<7月>
12		37	
		38	2021. 裁判所一般職対策
	<5月>	39	
連休	2018. 海保5月特別試験対策	40	
連休	2017. 海保5月特別試験対策	41	2021. 東京都職員Ⅲ類対策
連休	2016. 海保5月特別試験対策	42	
13		43	
14	2015. 海保5月特別試験対策	44	2020. 東京特別区Ⅲ類対策
15		45	
16			
17	2022. 東京特別区Ⅲ類対策		
18			
19			
20	2022. 刑務官対策		
21			
22			
23	2021. 国家一般職税務対策 適性試験あり		
24			

3. 評価方法

<p>教養対策実践演習の結果を集計し、評価する。出席状況を加味するために、平均点ではなく合計点を基準とする。 なお、公欠等で当日(標準実施日:金曜日)に実施できなかった場合、おおむね翌週までに提出できれば有効とする。</p>			
A評価	418点(平均22点×19回)以上	C評価	228点(平均12点×19回)以上
B評価	342点(平均18点×19回)以上	D評価	180点未満

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	オリジナル過去問冊子、解答用紙		
著者名	—	出版社	—

5. 実務教員の経歴

無

2023年4月1日

科目名	事務能力演習	必修／選択	必修
対象クラス	警察・消防学科2年	開講時期	前期
教員名	粕谷 草太／夏野 龍	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

<p>【重点目標】 本試験において適性試験、文章理解、資料解釈の正答率を高める。また、人文・社会系の一問一答を通じて地道に努力する姿勢を身につけさせる。</p> <p>【指導方法】 対面授業による演習を行う。上記目標を達成するため、適性試験演習70回(No.31～100)・文章理解プリント25回(100問)・資料解釈30回(60問)を実施する。8月中は過去問の実践演習を行い、9月公務員試験本番に向けた「実力の底上げ」を図っていく。</p>

2. 授業計画

(1時限

45分

×

45回

＝

2025分

3単位

時間	指導単元	時間	指導単元
1	適性試験演習 No.31 文章理解プリント ①	41	適性試験演習 No.70 一問一答 ⑬
2	適性試験演習 No.32	42	適性試験演習 No.71 文章理解プリント ⑭
3	適性試験演習 No.33 資料解釈プリント ①	43	適性試験演習 No.72 資料解釈プリント ⑭
4	適性試験演習 No.34 一問一答 ①	44	適性試験演習 No.73 一問一答 ⑭
5	適性試験演習 No.35 文章理解プリント ②	45	評定試験(文章理解・事務適性・資料解釈・一問一答)
6	適性試験演習 No.36 資料解釈プリント ②		
7	適性試験演習 No.37 一問一答 ②		
8	適性試験演習 No.38 文章理解プリント ③		
9	適性試験演習 No.39 資料解釈プリント ③		
10	適性試験演習 No.40 一問一答 ③		
11	5月連休課題 適性試験演習No.1～No.10		
12	適性試験演習 No.41 文章理解プリント ④		
13	適性試験演習 No.42 資料解釈プリント ④		
14	適性試験演習 No.43 一問一答 ④		
15	適性試験演習 No.44 文章理解プリント ⑤		
16	適性試験演習 No.45 資料解釈プリント ⑤		
17	適性試験演習 No.46 一問一答 ⑤		
18	適性試験演習 No.47 文章理解プリント ⑥		
19	適性試験演習 No.48 資料解釈プリント ⑥		
20	適性試験演習 No.49 一問一答 ⑥		
21	適性試験演習 No.50 文章理解プリント ⑦		
22	適性試験演習 No.51 資料解釈プリント ⑦		
23	適性試験演習 No.52 一問一答 ⑦		
24	適性試験演習 No.53 文章理解プリント ⑧		
25	適性試験演習 No.54 資料解釈プリント ⑧		
26	適性試験演習 No.55 一問一答 ⑧		
27	適性試験演習 No.56 文章理解プリント ⑨		
28	適性試験演習 No.57 資料解釈プリント ⑨		
29	適性試験演習 No.58 一問一答 ⑨		
30	適性試験演習 No.59 文章理解プリント ⑩		
31	適性試験演習 No.60 資料解釈プリント ⑩		
32	適性試験演習 No.61 一問一答 ⑩		
33	適性試験演習 No.62 文章理解プリント ⑪		
34	適性試験演習 No.63 資料解釈プリント ⑪		
35	適性試験演習 No.64 一問一答 ⑪		
36	適性試験演習 No.65 文章理解プリント ⑫		
37	適性試験演習 No.66 資料解釈プリント ⑫		
38	適性試験演習 No.67 一問一答 ⑫		
39	適性試験演習 No.68 文章理解プリント ⑬		
40	適性試験演習 No.69 資料解釈プリント ⑬		

3. 評価方法

出席率要件	80%以上	} ABCD評価 D=単位未修得	備考欄 ◎ 期末評定試験と成績評価方法 文章理解 30点／資料解釈 20点 適性試験 120点／一問一答 30点 200点満点の 評定試験を行い、出席と合わせて評価する
授業貢献度	—		
授業内のレポート・課題等	参考程度		
中間試験	—		
評定試験	一部実施		

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	適性試験演習100回シリーズ、オリジナルプリント(文章理解、資料解釈)		
著者名	—	出版社	実務教育出版、他

5. 実務教員の経歴

無

2023年4月1日

科目名	自然科学	必修／選択	必修
対象クラス	警察・消防学科2年	開講時期	前期
教員名	山崎裕二	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

【重点目標】 本試験において7割以上の正答率を目標とする 【指導方法】 対面授業形式で実施する。動画配信により、自宅でも視聴復習させる。 上記の重点目標を達成するため、演習ブックを使用した問題演習及び解説、プリント演習も取り入れていく。 過去問演習や補助プリントの作成等を行い成績向上の一助とする。
--

2. 授業計画 (1時限 45分 × 64回 = 2880分 4単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	生物 Lesson1 細胞と組織 テキスト	33	物理 1. 速度と距離 問題集テキスト、補助プリント
2	生物 Lesson1 細胞と組織 演習ブック、過去問プリント	34	物理 1. 速度と距離 問題集テキスト、補助プリント
3	生物 Lesson2 光合成 テキスト	35	物理 1. 速度と距離 問題集テキスト、補助プリント
4	生物 Lesson2 光合成 演習ブック、過去問プリント	36	<予備>
5	地学 Lesson1 地球の動き テキスト、過去問プリント	37	物理 2. 力 問題集テキスト、補助プリント
6	地学 Lesson2 太陽系 テキスト、過去問プリント	38	物理 2. 力 問題集テキスト、補助プリント
7	地学 Lesson3 恒星 テキスト、過去問プリント	39	物理 2. 力 問題集テキスト、補助プリント
8	生物 Lesson3 酵素・呼吸 テキスト	40	物理 3. エネルギー 問題集テキスト、補助プリント
9	生物 Lesson3 酵素・呼吸 演習ブック、過去問プリント	41	物理 3. エネルギー 問題集テキスト、補助プリント
10	地学 Lesson4 地震 テキスト	42	物理 3. エネルギー 問題集テキスト、補助プリント
11	地学 Lesson4 地震 テキスト、演習ブック、過去問プリント	43	物理 4. 波 問題集テキスト、補助プリント
12	生物 Lesson4 刺激と反応 テキスト、補助プリント	44	物理 4. 波 問題集テキスト、補助プリント
13	生物 Lesson4 刺激と反応 テキスト、補助プリント	45	物理 5. 電気 問題集テキスト、補助プリント
14	生物 Lesson5 ヒトの恒常性 テキスト、補助プリント	46	物理 5. 電気 問題集テキスト、補助プリント
15	生物 Lesson5 ヒトの恒常性 テキスト、補助プリント	47	物理 5. 電気 問題集テキスト、補助プリント
16	生物 Lesson5 ヒトの恒常性 補助プリント、演習ブック	48	評定試験③(20点分) 物理全般
17	地学 Lesson5 岩石の分類 テキスト、過去問プリント	49	化学 1. 物質の構成 問題集テキスト、補助プリント
18	地学 Lesson6 地史 テキスト、過去問プリント	50	化学 1. 物質の構成 問題集テキスト、補助プリント
19	生物 Lesson6 植物の反応と調節 テキスト、補助プリント	51	化学 2. 非金属の物質 問題集テキスト、補助プリント
20	評定試験①(20点分) 生物Lesson1～5・地学Lesson1～4	52	化学 2. 非金属の物質 問題集テキスト、補助プリント
21	生物 Lesson6 植物の反応と調節 補助プリント、演習ブック	53	化学 3. 金属の物質 問題集テキスト、補助プリント
22	地学 Lesson7 大気と海洋 テキスト、演習ブック、過去問プリント	54	化学 4. 酸化還元 問題集テキスト、補助プリント
23	地学 Lesson7 大気と海洋 テキスト、演習ブック、過去問プリント	55	化学 4. 酸化還元 問題集テキスト、補助プリント
24	地学 Lesson8 日本の天気 テキスト、過去問プリント	56	<予備>
25	生物 Lesson7 生殖・性の決定 テキスト、補助プリント	57	化学 5. 化学反応と量 問題集テキスト、補助プリント
26	生物 Lesson8 遺伝 補助プリント中心(テキスト参照)	58	化学 5. 化学反応と量 問題集テキスト、補助プリント
27	生物 Lesson8 遺伝 補助プリント中心(テキスト参照)	59	化学 5. 化学反応と量 問題集テキスト、補助プリント
28	生物 Lesson8 遺伝 補助プリント中心(テキスト参照)	60	<予備>
29	生物 Lesson9 生物の集団 テキスト、過去問プリント	61	過去問プリント演習(実力確認)
30	生物 Lesson10 生物の分類・進化 テキスト、補助プリント	62	過去問プリント演習(実力確認)
31	生物 Lesson11 食物連鎖・物質の循環 テキスト、補助プリント		
32	評定試験②(20点分) 生物Lesson6～8・地学Lesson5～8	63	評定試験④(20点分) 化学全般
		64	評定試験⑤(20点分) 全範囲 8月中旬実施

3. 評価方法

出席率要件	80%以上	} ABCD評価 D=単位未修得	備考欄 ◎ 期末評定試験は5～8月に5回実施、100点満点とする。
授業貢献度	—		
授業内のレポート・課題等	参考程度		
中間試験	—		
評定試験5回分	100点満点		

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	公務員合格セミナー 初級本科 一般知能(テキスト・演習ブック)、自作プリント、公務員合格ゼミ理科	出版社	実務教育出版、いっずな書店
著者名	—		

5. 実務教員の経歴

無

2023年4月1日

科目名	社会科学	必修／選択	必修
対象クラス	警察・消防学科2年	開講時期	前期
教員名	粕谷草太	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

<p>本科目は対面授業形式にて実施する。</p> <p>特別試験・9月公務員試験1次試験合格水準知識の習得を目指す。全ての単元を確実に網羅し、重要項目の得点アップに繋げる。授業→演習ブックの流れで定着を図る。さらに、確認ワークから出題される週テストやまとめテストも実施し、短期的に確認することで定着度の把握する機会を作る。後半には過去問題演習を実施し応用力の定着を図る。</p> <p>出欠確認／対面にて出席確認</p>
--

2. 授業計画 (1時限 45分 × 45回 = 2025分 3単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	政治 Lesson1 民主政治の基本原則	41	過去問演習
2	経済 Lesson1 需要と供給、経済学説	42	過去問演習
3	政治 Lesson2 主要国の政治制度	43	過去問演習
4	経済 Lesson2 市場	44	過去問演習
5	政治 Lesson3 日本国憲法	45	過去問演習
6	経済 Lesson3 企業		
7	政治 Lesson4 基本的人権(総論)		
8	経済 Lesson4 国民所得と景気変動		
9	政治 Lesson5 基本的人権(各論)		
10	経済 Lesson5 金融の仕組み		
11	政治 Lesson6 国会		
12	経済 Lesson6 財政の仕組み		
13	政治 Lesson7 内閣		
14	経済 Lesson7 日本経済の発展		
15	政治 Lesson8 裁判所		
16	経済 Lesson8 国際経済		
17	政治 Lesson9 地方自治		
18	経済 Lesson9 地域的経済統合		
19	政治 Lesson10 政党と選挙制度		
20	政治 Lesson11 国際政治		
21	政治 Lesson12 国際連合		
22	社会 Lesson1 社会学		
23	社会 Lesson2 労働問題		
24	社会 Lesson3 人口問題		
25	社会 Lesson4 社会保障		
26	社会 Lesson5 環境問題		
27	過去問演習		
28	過去問演習		
29	過去問演習		
30	過去問演習		
31	過去問演習		
32	過去問演習		
33	過去問演習		
34	過去問演習		
35	過去問演習		
36	過去問演習		
37	過去問演習		
38	過去問演習		
39	過去問演習		
40	過去問演習		

3. 評価方法

出席率要件	80%以上	} ABCD評価 D=単位未修得	備考欄
授業貢献度	—		
授業内のレポート・課題等	参考程度		
中間試験	—		
評定試験	100点満点		

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	公務員合格セミナー 初級本科 一般知識(テキスト・演習ブック)		
著者名	—	出版社	実務教育出版

5. 実務教員の経歴

無

科目名	人文科学B	必修／選択	必修
対象クラス	警察・消防学科2年	開講時期	前期
教員名	夏野龍	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

週に2コマの授業となるため、近代史に焦点を絞って授業実施する。板書を利用し授業で説明後、実務教育出版の演習ブックを利用し単元内容の確認をする形をとる。演習ブックで確実に解けたという実感を与えるために、ポイントを明確にすることを意識していく。

2. 授業計画 (1時限 45分 × 30回 = 1350分 2単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	(世)Lesson5列強の帝国主義政策		
2	(世)Lesson5列強の帝国主義政策		
3	(世)Lesson6第一次世界大戦前後		
4	(世)Lesson6第一次世界大戦前後		
5	(日)Lesson5明治時代		
6	(日)Lesson5明治時代		
7	(日)Lesson6大正時代～昭和前期		
8	(日)Lesson6大正時代～昭和前期		
9	(世)Lesson7第二次世界大戦～現代		
10	(世)Lesson7第二次世界大戦～現代		
11	(日)Lesson7第二次世界大戦後の諸改革		
12	(日)Lesson7第二次世界大戦後の諸改革		
13	(世)Lesson9中国の歴史		
14	(世)Lesson9中国の歴史		
15	(世)Lesson9中国の歴史		
16	(世)Lesson9中国の歴史		
17	(日)問題演習①		
18	(日)問題演習②		
19	(世)問題演習①		
20	(世)問題演習②		
21	(日)問題演習③		
22	(日)問題演習④		
23	(世)問題演習③		
24	(世)問題演習④		
25	(日)問題演習⑤		
26	(日)問題演習⑥		
27	(世)問題演習⑤		
28	(世)問題演習⑥		
29	(日)問題演習⑦		
30	(世)問題演習⑦		

3. 評価方法

出席	10%	} 100%	備考欄
授業貢献度	—		
授業内のレポート・課題等	—		
中間試験	—		
期末試験	90%		

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	自作プリント 実教 公務員合格セミナー 人文科学(テキスト・確認ワーク・演習ブック)		
著者名	—	出版社	実務教育出版

5. 実務教員の経歴

無

2023年4月1日

科目名	数的推理	必修／選択	必修
対象クラス	警察・消防学科2年	開講時期	前期
教員名	村山亮／中野樹	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

【重点目標】 本試験における正答率7割以上
【指導方法】 対面授業と動画の併用とする。演習ブックを中心にテキストも利用した問題演習、その解説を対面授業の中心として行う。その週に行った授業の復習のため、週末に動画を配信し、単元ごとの内容の定着を図る。また、補講や補助プリントの配布を行い、全体的に成績を向上させていく。(質問対応や個別対応も適宜行っていく)

2. 授業計画 (1時限 45分 × 66回 = 2970分 4単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	LESSON1 数の計算	37	LESSON14 速さ・距離・時間
2	LESSON1 数の計算	38	LESSON15 旅人算、流水算
3	LESSON1 数の計算	39	LESSON15 旅人算、流水算
4	LESSON2 約数・倍数	40	LESSON15 旅人算、流水算
	(動画)LESSON1, 2		(動画)LESSON15
5	LESSON2 約数・倍数	41	LESSON16 通過算
6	LESSON2 約数・倍数	42	LESSON17 比、割合
7	LESSON3 商と余り	43	LESSON17 比、割合
8	LESSON4 記数法	44	LESSON17 比、割合
	(動画)LESSON3, 4		(動画)LESSON16, 17
9	LESSON5 数量問題	45	LESSON18 濃度
10	LESSON5 数量問題	46	LESSON18 濃度
11	LESSON5 数量問題	47	LESSON19 百分率、増加率
12	LESSON6 覆面算、魔方陣	48	LESSON20 仕事算
	(動画)LESSON5		(動画)LESSON18, 19
13	LESSON6 覆面算、魔方陣	49	LESSON20 仕事算
14	LESSON6 覆面算、魔方陣	50	LESSON21 排水算、ニュートン算
15	LESSON1～6 復習	51	LESSON13～21 復習
16	確認テスト	52	確認テスト
	(動画)LESSON6		(動画)LESSON20, 21
17	LESSON7 数列	53	LESSON22 三角形と面積
18	LESSON7 数列	54	LESSON22 三角形と面積
19	LESSON7 数列	55	LESSON23 円と面積
20	LESSON8 方程式、関数	56	LESSON23 円と面積
	(動画)LESSON7		(動画)LESSON22, 23
	(動画)LESSON8	57	LESSON24 立体図形
21	LESSON8 方程式、関数	58	LESSON24 立体図形
22	LESSON8 方程式、関数	59	LESSON25 場合の数
23	LESSON9 連立方程式	60	LESSON25 場合の数
24	LESSON9 連立方程式		(動画)LESSON24, 25
	(動画)LESSON9	61	LESSON26 順列
25	LESSON10 方程式の整数解	62	LESSON27 組合せ
26	LESSON10 方程式の整数解	63	LESSON28 確率
27	LESSON11 不等式	64	LESSON28 確率
28	LESSON11 不等式		(動画)LESSON26, 27, 28
	(動画)LESSON10, 11	65	LESSON22～28 復習
29	LESSON12 時計算、年齢算、平均	66	確認テスト
30	LESSON12 時計算、年齢算、平均		評定試験
31	LESSON7～12 復習		
32	確認テスト		
	(動画)LESSON12		
33	LESSON13 集合		
34	LESSON13 集合		
35	LESSON14 速さ・距離・時間		
36	LESSON14 速さ・距離・時間		
	(動画)LESSON13, 14		

3. 評価方法

出席率	80%以上	備考欄
課題等		
評定試験		
	確認テスト、評定試験を総合して評価する ABCD4段階評価(D評価は単位未修得)	

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	公務員合格セミナー 初級本科 一般知能(テキスト・演習ブック)		
著者名	—	出版社	実務教育出版

5. 実務教員の経歴

無

2023年4月1日

科目名	判断推理	必修/選択	必修
対象クラス	警察・消防学科2年	開講時期	前期
教員名	仲野浩一/夏野龍	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

<p>【重点目標】本試験において7割以上の正答率を目標とする</p> <p>【指導方法】 対面授業とリモート授業(動画)の併用とする。上記目標を達成するため、テキスト&演習ブックを使用した問題演習及び解説を対面授業の中心とする。また、学生の理解レベルを考慮し、図形分野の単元は週末(土日)及び連休中に動画配信して自主学習を指導する。理解の及ばない学生に対しては、補講の実施や補助プリントの作成等を行い成績向上の一助とする。(単元ごとの過年度における学生理解達成状況を分析し、復習用の授業動画を適宜配信する)</p>
--

2. 授業計画 (1時限 45分 × 66回 = 2970分 4単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	Lesson1 集合 テキスト例題 <対面授業>	33	Lesson6 試合の勝敗 演習ブック <対面授業>
2	Lesson1 集合 演習ブック <対面授業>	34	Lesson6 試合の勝敗 演習ブック <対面授業>
3	Lesson1 集合 演習ブック <対面授業>	35	Lesson6 試合の勝敗 演習ブック <対面授業>
4	Lesson1 集合 演習ブック <対面授業>	36	Lesson6 試合の勝敗 演習ブック <対面授業>
週末	Lesson12 平面構成 テキスト、演習ブック(動画)	週末	Lesson15 折り紙と重ね合わせ テキスト、演習ブック(動画)
5	Lesson2 命題 テキスト <対面授業>	37	Lesson6 試合の勝敗 演習ブック <対面授業>
6	Lesson2 命題 演習ブック <対面授業>	38	Lesson7 発言推理 テキスト <対面授業>
7	Lesson2 命題 演習ブック <対面授業>	39	Lesson7 発言推理 テキスト <対面授業>
8	Lesson2 命題 演習ブック <対面授業>	40	評定試験②(20点分) Lesson4~6, 14~15
週末	Lesson13 平面分割 テキスト、演習ブック(動画)		
9	Lesson2 命題 演習ブック <対面授業>	41	Lesson7 発言推理 演習ブック <対面授業>
10	Lesson2 命題 演習ブック <対面授業>	42	Lesson7 発言推理 演習ブック <対面授業>
11	Lesson3 対応関係 テキスト <対面授業>	43	Lesson7 発言推理 演習ブック <対面授業>
12	Lesson3 対応関係 演習ブック <対面授業>	44	Lesson7 発言推理 演習ブック <対面授業>
		週末	Lesson16 位相と経路 テキスト、演習ブック(動画)
連休	Lesson20 展開図 テキスト、演習ブック(動画)	45	Lesson7 発言推理 演習ブック <対面授業>
連休	Lesson21 投影図 テキスト、演習ブック(動画)	46	Lesson8 数量関係 テキスト <対面授業>
連休	Lesson22 立体の切断・回転・結合 テキスト(動画)	47	Lesson8 数量関係 演習ブック <対面授業>
連休	Lesson22 立体の切断・回転・結合 演習ブック(動画)	48	Lesson8 数量関係 演習ブック <対面授業>
		週末	Lesson16 位相と経路 テキスト、演習ブック(動画)
13	Lesson3 対応関係 演習ブック <対面授業>	49	Lesson8 数量関係 演習ブック <対面授業>
14	Lesson3 対応関係 演習ブック <対面授業>	50	Lesson9 操作の手順 テキスト <対面授業>
15	Lesson3 対応関係 演習ブック <対面授業>	51	Lesson9 操作の手順 演習ブック <対面授業>
16	Lesson3 対応関係 演習ブック <対面授業>	52	Lesson9 操作の手順 演習ブック <対面授業>
週末		週末	Lesson18 立体構成 テキスト、演習ブック(動画)
17	Lesson3 対応関係 演習ブック <対面授業>	53	Lesson9 操作の手順 演習ブック <対面授業>
18	Lesson4 順序関係 テキスト <対面授業>	54	Lesson9 操作の手順 演習ブック <対面授業>
19	Lesson4 順序関係 演習ブック <対面授業>	55	Lesson9 操作の手順 演習ブック <対面授業>
20	評定試験①(20点分) Lesson1~3, 12~13	56	Lesson10 暗号 テキスト <対面授業>
		週末	Lesson18 立体構成 テキスト、演習ブック(動画)
21	Lesson4 順序関係 演習ブック <対面授業>	57	Lesson10 暗号 演習ブック <対面授業>
22	Lesson4 順序関係 演習ブック <対面授業>	58	Lesson10 暗号 演習ブック <対面授業>
23	Lesson4 順序関係 演習ブック <対面授業>	59	Lesson11 規則性 テキスト <対面授業>
24	Lesson4 順序関係 演習ブック <対面授業>	60	評定試験③(20点分) Lesson7~9, 16, 18
週末	Lesson14 移動・回転・軌跡 テキスト、演習ブック(動画)		
25	Lesson5 位置関係 テキスト <対面授業>	61	Lesson11 規則性 演習ブック <対面授業>
26	Lesson5 位置関係 テキスト <対面授業>	62	Lesson17 方位と位置 テキスト <対面授業>
27	Lesson5 位置関係 演習ブック <対面授業>	63	Lesson17 方位と位置 演習ブック <対面授業>
28	Lesson5 位置関係 演習ブック <対面授業>	64	Lesson17 方位と位置 演習ブック <対面授業>
週末	Lesson14 移動・回転・軌跡 テキスト、演習ブック(動画)	週末	Lesson19 正多面体 テキスト、演習ブック(動画)
29	Lesson5 位置関係 演習ブック <対面授業>		
30	Lesson5 位置関係 演習ブック <対面授業>	65	評定試験④(20点分) Lesson10, 17, 19~22
31	Lesson5 位置関係 演習ブック <対面授業>	66	評定試験⑤(20点分) Lesson1~22 8月中旬実施
32	Lesson6 試合の勝敗 テキスト <対面授業>		
週末	Lesson15 折り紙と重ね合わせ テキスト、演習ブック(動画)		

3. 評価方法

出席率要件	80%以上	} ABCD評価 D=単位未修得	備考欄 ◎ 期末評定試験は5~8月に5回実施、100点満点とする。
授業貢献度	—		
授業内のレポート・課題等	平常点評価		
中間試験	—		
評定試験5回分	100点満点		

4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	公務員合格セミナー 初級本科 一般知能(テキスト・演習ブック)、自作プリント		
著者名	—	出版社	実務教育出版

5. 実務教員の経歴

無

2023年4月1日

科目名	数学IA・SPI演習	必修／選択	選択
対象クラス	警察・消防学科2年	開講時期	前期
教員名	仲野浩一	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

<p>【重点目標】 本試験出題の標準問題において正答する実力を身に着ける</p> <p>【指導方法】 対面授業を基本としながら、授業を同時録画し復習用に配信する。上記目標を達成するため、数学I問題集&SPIプリントを使用した対面授業を実施する。SCOA模試も取り入れる。理解の及ばない学生に対しては、補講の実施や補助プリントの作成等を行い成績向上の一助とする。授業参加・科目単位修得は選択任意とし、選択を希望しない学生にも授業をリモート配信する。</p>

2. 授業計画 (1時限 45分 × 50回 = 2250分 3単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	数学I 1. 整式とその加減 2. 整式の乗法(1)	27	数学I 27. 三角比の相互関係(1)
2	数学I 3. 整式の乗法(2) 4. 因数分解(1)	28	数学I 28. 三角比の相互関係(2)
3	数学I 5. 因数分解(2) 計算プリント演習	29	数学I 29. 三角比と方程式・不等式
4	数学I 6. 実数	30	数学I 30. 正弦定理
5	数学I 7. 根号を含む式の計算	31	数学I 31. 余弦定理
6	数学I 8. 1次不等式 計算プリント演習	32	数学I 31. 余弦定理
連休	数学I 9. 集合 (動画)	33	数学I 32. 正弦定理と余弦定理の利用
連休	数学I 10. 命題 (動画)	34	数学I 32. 正弦定理と余弦定理の利用
連休	数学I 11. 命題と条件 (動画)		
連休	数学I 12. 命題とその逆・裏・対偶 13. 命題と証明 (動画)	35	SPI 図形, グラフ分野 補充プリント
		36	SPI 図形, グラフ分野 補充プリント
7	数学I 14. 関数とグラフ		
8	数学I 15. 2次関数のグラフ	37	SPI 図形, グラフ分野 補充プリント
		38	数学I 33. 図形の面積
9	数学I 16. 2次関数の決定	39	数学I 33. 図形の面積
10	数学I 16. 2次関数の決定	40	数学I 34. 空間図形への利用
11	数学I 17. 2次関数の最大・最小(1)	41	評定試験③(20点分) 数学I 単元25~34
12	評定試験①(20点分) 数学I 単元1~13	42	数学I 35. データの整理
		43	数学I 36. データの代表値
13	数学I 18. 2次関数の最大・最小(2)	44	数学I 37. データの散らばりと四分位数
14	数学I 19. 2次関数の利用		
		45	数学I 38. 分散と標準偏差
15	数学I 20. 2次方程式	46	ウイネットSCOA模試<第1回>
16	数学I 21. 2次関数と2次方程式	47	SPI 国語分野 補充プリント
		48	SPI 国語分野 補充プリント
17	数学I 22. 2次関数と2次不等式		
18	数学I 22. 2次関数と2次不等式	49	SPI 国語分野 補充プリント
		50	ウイネットSCOA模試<第2回>
19	数学I 22. 2次関数と2次不等式 過去問プリント演習		漢字ミニテスト《2》
20	数学I 23. 2次不等式の利用		
21	数学I 23. 2次不等式の利用 過去問プリント演習		
22	数学I 24. 2次方程式の解の存在範囲		
23	過去問プリント演習(2次方程式、2次不等式、関数)		
24	評定試験②(20点分) 数学I 単元14~24		
	漢字ミニテスト《1》		
25	数学I 25. 鋭角の三角比		
26	数学I 26. 鈍角の三角比		

3. 評価方法

出席率要件	80%以上	} ABCD評価 D=単位未修得	備考欄 ◎ 評定試験3回分&SCOA模試2回分、計100点満点。
授業貢献度	—		
授業内のレポート・課題等	参考程度		
評定試験3回分	60点満点		
SCOA模試2回分	40点満点換算		

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	トレーニングノートα 数学I、SPIプリント補充、ウイネットSCOA模試		
著者名	—	出版社	受験研究者、ウイネット 他

5. 実務教員の経歴

無

科目名	社会常識	必修／選択	必修
対象クラス	警察・消防学科2年	開講時期	後期
教員名	粕谷草太	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

【重点目標】 社会常識マナー検定2級に合格(70%以上)。 【指導方法】 対面授業を基本としながら、授業を同時録画し復習用に配信する。検定過去問を約20回分演習させることで、合格に導く。 公務員試験や各種就職試験を終えた後の学生に対し、社会人スタートにふさわしいビジネスマナー及び社会常識を身につけさせる。 冬休みにも宿題を課すことで、在学生としての学ぶ必要性や意識を途切れさせない。

2. 授業計画

(1時限

45分

×

52回

＝

2340分

3単位

時間	指導単元	時間	指導単元
1	テキスト 第1編:社会常識 第1章「社会と組織」	31	テキスト 第3編:ビジネスマナー 第4章「交際業務」
2	過去問演習 第46回 計測実施	32	過去問演習 第28回 計測実施
3	過去問演習 第46回 解説	33	過去問演習 第28回 解説
4	テキスト 第1編:社会常識 第2章「仕事と成果」	34	テキスト 第3編:ビジネスマナー 第5章「文書類…」第6章「会議」
5	過去問演習 第44回 計測実施	35	過去問演習 第27回 計測実施
6	過去問演習 第44回 解説	36	過去問演習 第27回 解説
		37	過去問演習 第48回 計測実施
7	テキスト 第1編:社会常識 第3章「一般知識」	38	過去問演習 第48回 解説
8	過去問演習 第42回 計測実施		
9	過去問演習 第42回 解説	39	テキスト 第3編:ビジネスマナー 第7章「ファイリング・他」
10	テキスト 第2編:コミュニケーション 第1章「ビジネスコミュニケーション」	40	過去問演習 第50回 計測実施
11	過去問演習 第40回 計測実施	41	過去問演習 第50回 解説
12	過去問演習 第40回 解説	42	過去問演習 第52回 計測実施
13	過去問演習 第38回 計測実施	43	過去問演習 第52回 解説
14	過去問演習 第38回 解説	44	冬休みの宿題確認、検定試験への意識づけ
15	テキスト 第2編:コミュニケーション 第2章「社会人にふさわしい言葉遣い」	冬休み	宿題:社会人常識マナー検定2級問題集、1冊仕上げる 冬休み明けに提出
16	過去問演習 第36回 計測実施		
17	過去問演習 第36回 解説		
18	テキスト 第2編:コミュニケーション 第3章「ビジネス文書の活用」	45	過去問演習 第26回 計測実施
19	過去問演習 第34回 計測実施	46	過去問演習 第26回 解説
20	過去問演習 第34回 解説	47	過去問演習 第25回 計測実施
21	過去問演習 第32回 計測実施	48	過去問演習 第25回 解説
22	過去問演習 第32回 解説	49	過去問演習 第40回 計測実施
		50	過去問演習 第40回 解説
23	テキスト 第3編:ビジネスマナー 第1章「職場のマナー」第2章「来客対応」	51	過去問演習 第38回 計測実施
24	過去問演習 第31回 計測実施	52	過去問演習 第38回 解説
25	過去問演習 第31回 解説		
26	テキスト 第3編:ビジネスマナー 第3章「電話対応」		
27	過去問演習 第30回 計測実施		
28	過去問演習 第30回 解説		
29	過去問演習 第29回 計測実施		
30	過去問演習 第29回 解説		

3. 評価方法

出席率要件	80%以上	} ABCD評価 D=単位未修得	備考欄 ◎ 評価 … 検定2級合格=A、60～69点=B、50～59点=C
授業貢献度	—		
授業内のレポート・課題等	参考程度		
評定試験	実施せず		
検定本番	合格or50点以上		

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	社会人常識マナー検定テキスト2・3級、社会人常識マナー検定試験過去問題集2級	出版社	全国経理教育協会
著者名	—		

5. 実務教員の経歴

無

2023年4月1日

科目名	春期対策講座	必修／選択	必修
対象クラス	警察・消防学科2年	開講時期	前期
教員名	粕谷草太／夏野龍	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

5月特別試験に向けて、教養試験, 自己分析, エントリーシート作成, 面接練習など各種対策を実施する。

2. 授業計画 (1時限 45分 × 回数 = 0分 0単位)

時間	指導単元	時間	指導単元	時間	指導単元	時間	指導単元
1	教養試験対策	41	公務員試験模試	81	教養試験対策	121	公務員試験模試
2	教養試験対策	42	解説授業	82	教養試験対策	122	解説授業
3	教養試験対策	43	解説授業	83	教養試験対策	123	解説授業
4	教養試験対策	44	解説授業	84	教養試験対策	124	解説授業
5	教養試験対策	45	エントリーシート作成	85	教養試験対策	125	エントリーシート作成
6	教養試験対策	46	エントリーシート作成	86	教養試験対策	126	エントリーシート作成
7	公務員試験模試	47	面接対策	87	公務員試験模試	127	面接対策
8	公務員試験模試	48	面接対策	88	公務員試験模試	128	面接対策
9	公務員試験模試	49	教養試験対策	89	公務員試験模試	129	教養試験対策
10	解説授業	50	教養試験対策	90	解説授業	130	教養試験対策
11	解説授業	51	教養試験対策	91	解説授業	131	教養試験対策
12	解説授業	52	教養試験対策	92	解説授業	132	教養試験対策
13	エントリーシート作成	53	教養試験対策	93	エントリーシート作成	133	教養試験対策
14	エントリーシート作成	54	教養試験対策	94	エントリーシート作成	134	教養試験対策
15	面接対策	55	公務員試験模試	95	面接対策	135	公務員試験模試
16	面接対策	56	公務員試験模試	96	面接対策	136	公務員試験模試
17	教養試験対策	57	公務員試験模試	97	教養試験対策	137	公務員試験模試
18	教養試験対策	58	解説授業	98	教養試験対策	138	解説授業
19	教養試験対策	59	解説授業	99	教養試験対策	139	解説授業
20	教養試験対策	60	解説授業	100	教養試験対策	140	解説授業
21	教養試験対策	61	エントリーシート作成	101	教養試験対策	141	エントリーシート作成
22	教養試験対策	62	エントリーシート作成	102	教養試験対策	142	エントリーシート作成
23	公務員試験模試	63	面接対策	103	公務員試験模試	143	面接対策
24	公務員試験模試	64	面接対策	104	公務員試験模試	144	面接対策
25	公務員試験模試	65	教養試験対策	105	公務員試験模試	145	教養試験対策
26	解説授業	66	教養試験対策	106	解説授業	146	教養試験対策
27	解説授業	67	教養試験対策	107	解説授業	147	教養試験対策
28	解説授業	68	教養試験対策	108	解説授業	148	教養試験対策
29	エントリーシート作成	69	教養試験対策	109	エントリーシート作成	149	教養試験対策
30	エントリーシート作成	70	教養試験対策	110	エントリーシート作成	150	教養試験対策
31	面接対策	71	公務員試験模試	111	面接対策	151	公務員試験模試
32	面接対策	72	公務員試験模試	112	面接対策	152	公務員試験模試
33	教養試験対策	73	公務員試験模試	113	教養試験対策	153	公務員試験模試
34	教養試験対策	74	解説授業	114	教養試験対策	154	解説授業
35	教養試験対策	75	解説授業	115	教養試験対策	155	解説授業
36	教養試験対策	76	解説授業	116	教養試験対策	156	解説授業
37	教養試験対策	77	エントリーシート作成	117	教養試験対策	157	エントリーシート作成
38	教養試験対策	78	エントリーシート作成	118	教養試験対策	158	エントリーシート作成
39	公務員試験模試	79	面接対策	119	公務員試験模試	159	面接対策
40	公務員試験模試	80	面接対策	120	公務員試験模試	160	面接対策

3. 評価方法

出席	90%	} 100%	備考欄
授業貢献度	—		
授業内のレポート・課題等	10%		
中間試験	—		
期末試験	—		

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	—	出版社	—
著者名	—		

5. 実務教員の経歴

無

2032年4月1日

科目名	夏期対策講座	必修／選択	必修
対象クラス	警察・消防学科2年	開講時期	前期
教員名	粕谷草太／夏野龍	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

8月・9月の公務員試験に向けて模擬試験(実務教育出版)と教養対策実践演習(オリジナル過去問プリント)を用いて演習を行う。
また、公務員試験の主要科目について直前対策授業を行い、公務員試験に向けた最終指導を行う。

2. 授業計画 1時限 45分 × 126回 = 5670分 8単位

時間	指導単元	時間	指導単元	時間	指導単元
1	2019. 国家一般職税務対策 適性試験対策あり	43	学内模擬試験⑩ 警察官編	85	2017. 国家一般職税務対策 適性試験対策あり
2		44		86	
3		45		87	
4	数的推理 直前対策授業	46	学内模擬試験⑩ 警察官編 解説・復習	88	自然科学 直前対策授業
5		47		89	
6	判断推理 直前対策授業	48	社会科学 直前対策授業	90	人文科学A 直前対策授業
7		49		91	
8	学内模擬試験⑨ 国家一般職編	50	2017. 東京特別区Ⅲ類対策 事務適性・資料解釈 直前対策	92	学内模擬試験⑫ 地方初級編
9		51		93	
10		52		94	
11	学内模擬試験⑨ 国家一般職編 解説・復習	53	数的推理 直前対策授業	95	学内模擬試験⑫ 地方初級編 解説・復習
12		54		96	
13	社会科学 直前対策授業	55	判断推理 直前対策授業	97	2016. 裁判所一般職対策
14		56		98	
15	2018. 国家一般職税務対策 適性試験対策あり	57	2019. 東京都職員Ⅲ類対策 事務適性・資料解釈 直前対策	99	2016. 東京特別区Ⅲ類対策
16		58		100	
17		59		101	
18	自然科学 直前対策授業	60	数的推理 直前対策授業	102	2016. 国家一般職税務対策 適性試験対策あり
19		61		103	
20	人文科学B 直前対策授業	62	判断推理 直前対策授業	104	キャリアデザイン
21		63		105	
22	2018. 東京特別区Ⅲ類対策	64	2021. 刑務官対策	106	学内模擬試験⑬
23		65		107	
24	事務適性・資料解釈 直前対策	66	キャリアデザイン	108	
25	数的推理 直前対策授業	67	自然科学 直前対策授業	109	学内模擬試験⑬ 解説・復習
26		68		110	
27	判断推理 直前対策授業	69	人文科学B 直前対策授業	111	2020. 刑務官対策
28		70		112	
29	2017. 東京特別区Ⅲ類対策	71	2022. 海保9月対策	113	学内模擬試験⑭
30		72		114	
31	キャリアデザイン	73	事務適性・資料解釈 直前対策	115	
32	自然科学 直前対策授業	74	人文科学A 直前対策授業	116	学内模擬試験⑭ 解説・復習
33		75		117	
34	人文科学A 直前対策授業	76	人文科学B 直前対策授業	118	2021. 海保9月試験対策
35		77		119	
36	公務員模擬試験⑥	78	学内模擬試験⑪ 市役所・消防官編	120	2015. 国家一般職税務対策 適性試験対策あり
37		79		121	
38		80		122	
39	公務員模擬試験⑥ 作文	81	学内模擬試験⑪ 市役所・消防官編 解説・復習	123	2015. 東京特別区Ⅲ類対策
40	公務員模擬試験⑥	82		124	
41	解説・復習	83	社会科学 直前対策授業	125	事務適性・資料解釈 直前対策
42	キャリアデザイン	84		126	キャリアデザイン
		連休課題	2019. 東京特別区Ⅲ類対策 2017. 裁判所一般職対策 2020. 東京都職員Ⅲ類対策		

3. 評価方法

模擬試験と教養対策実践演習の結果を集計し、評価する。出席状況を加味するために、平均点ではなく合計点を基準とする。
なお、公欠等で当日に実施できなかった場合、おおむね翌週までに提出できれば有効とする。

A評価	506点(平均22点×23回)以上	C評価	276点(平均12点×23回)以上
B評価	414点(平均18点×23回)以上	D評価	276点未満

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	公務員模擬試験／学内模擬試験／オリジナル過去問冊子・解答用紙 他		
著者名		出版社	株式会社実務教育出版 他

5. 実務教員の経歴

無

2023年4月1日

科目名	直前対策講座	必修／選択	必修
対象クラス	警察・消防学科2年	開講時期	前期
教員名	粕谷草太／夏野龍	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

9月試験合格に向けて、最終的な教養対策を実施する。
併せて、9月1週目の試験終了後は面接試験対策も実施する。

2. 授業計画

1時限 45分 × 133回 = 5985分 8単位

時間	指導单元	時間	指導单元	時間	指導单元
1	2014. 国家一般職税務対策 適性試験対策あり	50	2015. 裁判所一般職対策 文章理解・資料解釈・事務適性	99	2017. 東京都職員Ⅲ類対策 文章理解・資料解釈・事務適性
2		51		100	
3		52		101	
4	数的推理 直前対策授業	53	面接試験対策	102	面接試験対策
5		54		103	
6		55		104	
7	判断推理 直前対策授業	56		105	
8	自然科学 直前対策授業	57	人文科学B 直前対策授業	106	人文科学B 直前対策授業
9		58		107	
10		59		108	
11	数的推理 直前対策授業	60	数的推理 直前対策授業	109	数的推理 直前対策授業
12		61		110	
13	判断推理 直前対策授業	62	判断推理 直前対策授業	111	判断推理 直前対策授業
14		63		112	
15	2013. 国家一般職税務対策 適性試験対策あり	64	2009. 東京特別区Ⅲ類対策 文章理解・資料解釈・事務適性	113	2018. 海保9月対策 文章理解・資料解釈・事務適性
16		65		114	
17		66		115	
18	数的推理 直前対策授業	67	面接試験対策	116	面接試験対策
19		68		117	
20		69		118	
21	判断推理 直前対策授業	70		119	
22	自然科学 直前対策授業	71	人文科学A 直前対策授業	120	社会科学 直前対策授業
23		72		121	
24		73		122	
25	数的推理 直前対策授業	74	数的推理 直前対策授業	123	人文科学A 直前対策授業
26		75		124	
27	判断推理 直前対策授業	76	判断推理 直前対策授業	125	人文科学B 直前対策授業
28		77		126	
29	2020. 海保9月対策 文章理解・資料解釈・事務適性	78	2008. 東京特別区Ⅲ類対策 文章理解・資料解釈・事務適性	127	社会科学 直前対策授業
30		79		128	
31		80		129	
32	数的推理 直前対策授業	81	面接試験対策	130	人文科学A 直前対策授業
33		82		131	
34		83		132	
35	判断推理 直前対策授業	84		133	人文科学B 直前対策授業
36	2014. 東京特別区Ⅲ類対策 文章理解・資料解釈・事務適性	85	2018. 刑務官対策 文章理解・資料解釈・事務適性		
37		86			
38		87			
39	面接試験対策	88	面接試験対策		
40		89			
41		90			
42		91			
43		92			
44		93			
45		94			
46		95			
47		96			
48		97			
49	98				

3. 評価方法

オリジナル過去問の結果を集計し、評価する。出席状況を加味するために、平均点ではなく合計点を基準とする。
なお、公欠等で当日に実施できなかった場合、おおむね翌週までに提出できれば有効とする。

A評価 250点(平均25点×10回)以上 C評価 150点(平均15点×10回)以上
B評価 200点(平均20点×10回)以上 D評価 150点未満

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	オリジナル過去問冊子・解答用紙 他	出版社	—
著者名	—	出版社	—

5. 実務教員の経歴

無